

2019年1月28日

報道関係各位

三菱地所株式会社
株式会社クリーンプラネット

新水素エネルギーの実用化に向けてクリーンプラネット社に出資

～新エネルギー革命によって持続可能な社会基盤の実現へ～

三菱地所株式会社は、クリーンなエネルギー社会の実現を目指し、新水素エネルギーを研究開発する株式会社クリーンプラネットが2019年1月25日付で実施した第三者割当増資を引き受けました。

三菱地所は、「まちづくりを通じて真に価値ある社会の実現」を基本使命に掲げ、「ESG（環境、社会、ガバナンス）先進企業としての地位確立、ステークホルダーとの共生と企業価値の向上」を中期経営計画の目標に設定し、SDGs(Sustainable Development Goals)の取り組みを推進しています。これらの実現と三菱地所グループのCO₂排出量削減の達成を目指す上で、クリーンプラネットが研究開発を進めている安価で環境負荷の少ない新水素エネルギー技術は非常に可能性がある技術だと考えています。三菱地所は、これまで、省エネ性能の高い建物の開発運営、地域冷暖房事業などによる、低炭素な街づくりを進めてきました。今後は、これまでの取り組みに加え、新エネルギーの活用についても積極的に検討することで、脱炭素社会に向けた街づくりを進めてまいります。

クリーンプラネットは、社会インフラにおけるエネルギー産業において革新的イノベーションを創出するために、「安全、安定、安価」でクリーンな新エネルギーの開発研究に取り組むベンチャー企業です。クリーンプラネットは、2015年に国立大学法人東北大学と共に設立した、同大学電子光理学研究センター内の「凝縮系核反応研究部門」を拠点に、水素を利用した従来の「水素エネルギー」に比べて、水素単位当たりのエネルギー出力が膨大な「新水素エネルギー」の開発と実用化に取り組み、電力コストを現在の1/10とすることを目指しております。同社は、CO₂フリーな世界の新しいクリーンエネルギー源として「新水素エネルギー」をグローバルに普及させ、持続可能な社会基盤を実現すべく、今後とも邁進してまいります。

「新水素エネルギー」による最大効率の電気、熱の恩恵は、生活や産業の隅々にまで届く



三菱地所グループとクリーンプラネットは、今回の資本提携を機に、新エネルギー革命による持続可能な社会基盤を創り、人に優しい街づくりに貢献してまいります。

<三菱地所株式会社の会社概要>

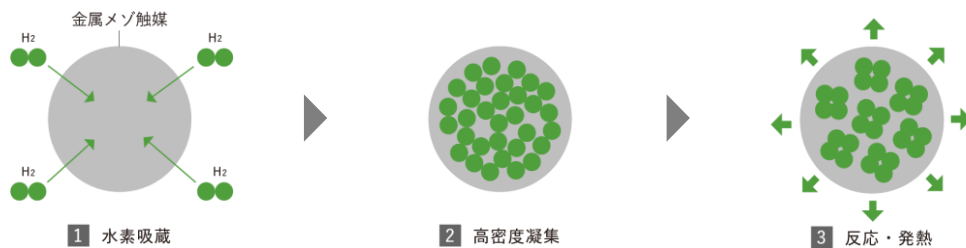
本社所在地 : 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
設立 : 1937 年 5 月
資本金 : 1420 億 2316 万 9897 円 (2018 年 5 月 25 日現在)
事業内容 : オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸、管理、収益用不動産の開発・資産運用、住宅用地・工業用地等の開発、販売、余暇施設等の運営、不動産の売買、仲介、コンサルティング
従業員数 : 806 名 連結 : 8,856 名 (2018 年 3 月 31 日現在)
代表者 : 執行役社長 吉田 淳一
Web サイト URL : <http://www.mec.co.jp>

<株式会社クリーンプラネットの会社概要>

本社所在地 : 東京都港区海岸一丁目 2 番 3 号
設立 : 2012 年 9 月
資本金 : 4 億 5660 万円 (ほか、資本準備金 3 億 5110 万円)
事業内容 : 新エネルギーや環境技術を利用した製品の研究・開発・販売
従業員数 : 5 名
代表者 : 代表取締役社長 兼 CEO 吉野 英樹
Web サイト URL : <http://www.cleanplanet.co.jp>

《ご参考》

新水素エネルギー（「金属水素間新規熱反応」）の革新的な仕組み



(出典 : NEDO「エネルギー・環境新技術先導プログラム 2017」)

超微小な金属粒子（金属メゾ触媒）に水素を吸蔵させ、一定の条件下で刺激を加えることによって相互に作用させると、CO₂をまったく排出することなく、通常の燃焼反応と比べて水素 1 グラムあたり数桁以上も大きな熱エネルギーが放出されます。クリーンプラネット／東北大学チームが開発した独自のメソッドでは、発熱現象を支える心臓部である金属メゾ触媒の反応パーツに唯一無二の独自技術を随所に取り入れております。

